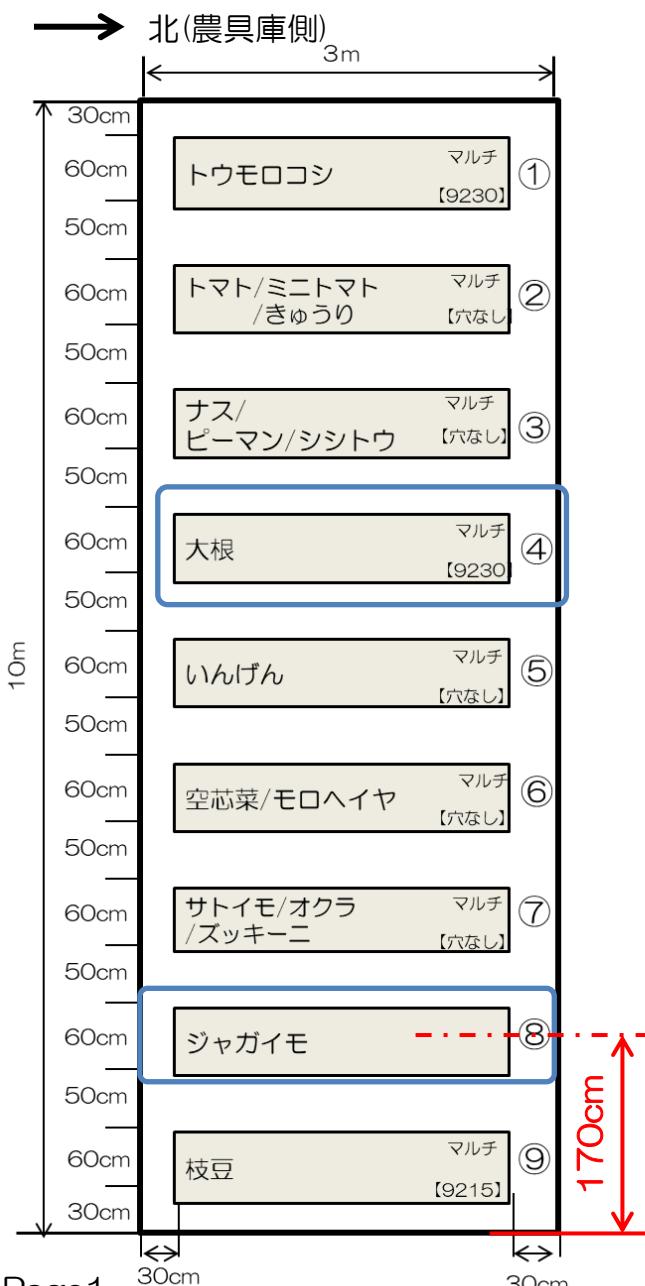


注：詳細は講習当日の指示に従ってください

注意：第1回目講習会は、作業が早い方であっても
「じゃがいも植え/大根マルチ+種まき」のみ実施ください。



□畑つくり(区画全体)

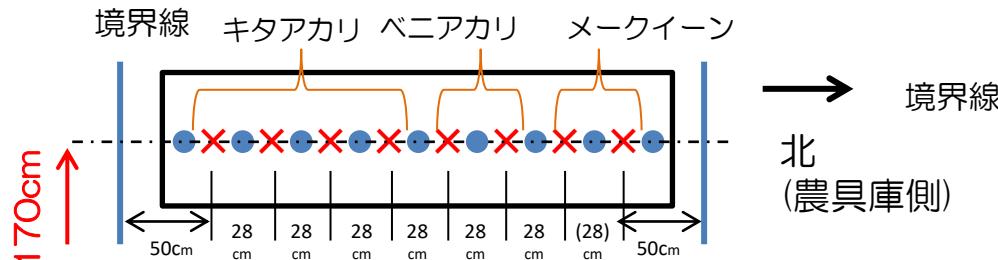
- ・施肥：堆肥3袋(45kg)
※2月中に耕耘機にて混ぜ込み済です。

口ジャガイモの植付け(8列目)

キタアカリ：2個(4か所)、ベニアカリ：1個(2か所)

メークイーン1個(2か所)

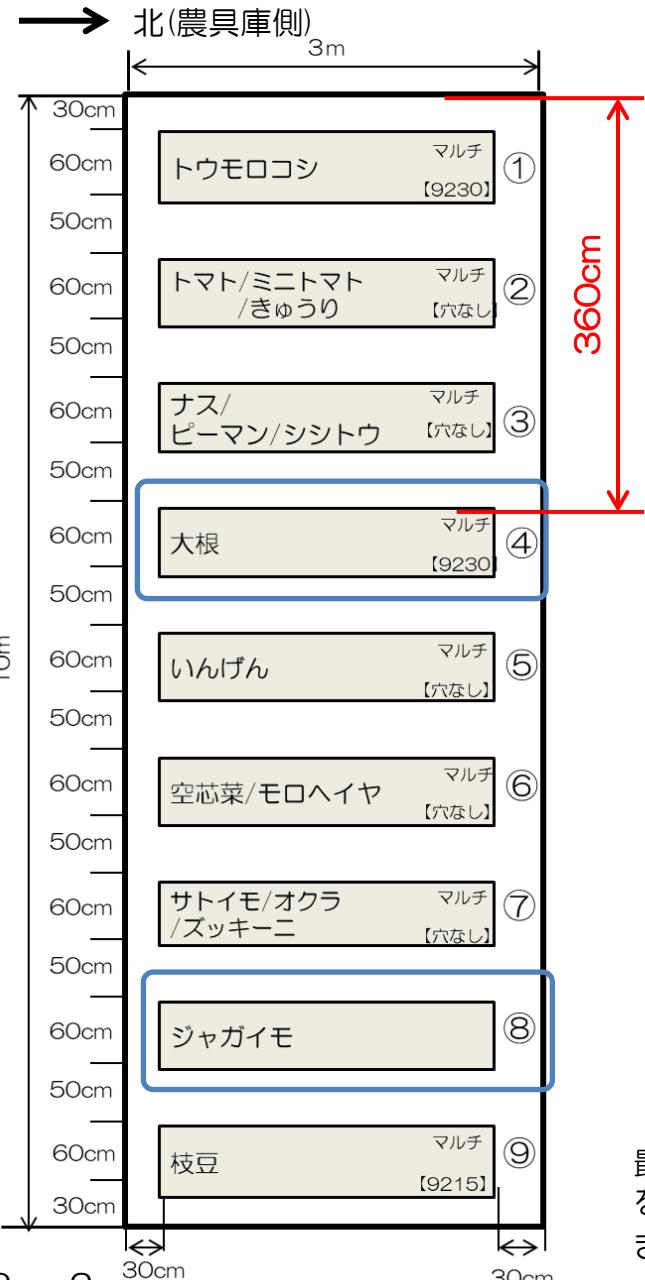
- ・種イモ切り(1/2にカット) ※芽があるところを残す
 - ・**×指示部**に深さ約10cm程度の深さの穴をスコップで掘り、種イモを植え付ける(28cm間隔)
 - ・施肥(肥料:野菜名人) 1杯 → ●部に均等に撒く



※標準は30cm間隔ですが、種イモを効率よく使えるよう
間隔を狭めています。

- 注1. **区画/作付け位置に注意し、植付を行ってください。**

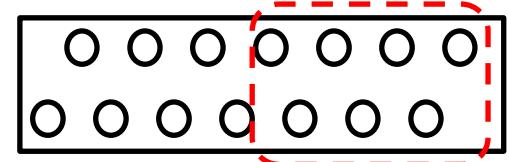
注2. 畝(うね)の作成や植付時に寸法を測る場合、
区画の境界線(トラロープ)を基準としてください。
区画内/区画間の通路が確保できなくなるためです。



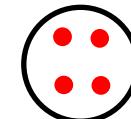
注: 詳細は講習当日の指示に従ってください

□大根の種まき(④列目)

- 施肥: 化成8号、石灰
アツミン 各1杯(約200g)
- マルチ9230をひく
- 種まき(半分/北側) 1穴4粒
※人参種まきを早めに行うため、
日程を早めにしています
肥料をよく混ぜ込んでください



マルチ穴



種を1か所に固まらないよう、
ばらして撒きます
指で4つ穴を空けると楽です

マルチ引き手順(参考)→1年目の方は個別指導します

- ①採寸し、畝両端に間縄を引く
- ②間縄間に施肥した後、レーキで肥料を畝全体に混ぜる
- ③畝全周を掘る

慣れないうちは角スコップを使うと楽です。

注1. 土は畝に垂直に掘り、土は畝外側によける

注2. 4隅もしっかり掘る

- ④畝を平らにする(凸凹にすると水が溜まります)

- ⑤マルチを覆い、左右に引っ張りながら
しわが出ないようにひく。

※工程⑤の後の微調整

穴を畝の端に合わせると
数が多く取れます



最後にマルチの縁
を押し込むと
きれいに張れます

「各種肥料について」

本資料はHPのみ掲載です

第一回講習では「畑つくり」では堆肥(農園側で実施済み)、「ジャガイモ植え」では配合肥料撒きといった作業があります。同じように感じるかもしれません、それぞれ目的が異なります。

「畑つくり」の堆肥/石灰撒きは、**土壌を調整することが主な目的です。**

- ・堆肥：土の保肥性/保水性/通気性等を高めたり、土中の微生物の活動を活発にすることで、土中の環境を良くする優れた「土壌改良材」としての働きをします。
- ・石灰：土壌酸度を酸性→アルカリ性に変え、野菜が育ちやすいような酸度に調整します。

「ジャガイモ植え」の配合肥料撒きは、**野菜が成長するのに必要な栄養分を与える**ことが目的です。野菜に必要な三要素(窒素：N、リン：P、カリ：K)を与えます。

どちらも畑の状態により適正量が異なるため、本講習で示した量がそのまま他の畑(市民農園等)で使えるというわけではありません。ご注意ください

「マルチとは」

マルチとは正式には「マルチング」と言い、土の表面をポリフィルム等で覆う作業を意味します。

マルチを行う効果は、以下の通りです。

- ①地温を調整する
- ②土壤水分を保持する(乾燥防止)
- ③雑草の防除
- ④土の跳ね返りを防ぐ(病害防除)

色も、黒/透明/シルバー等があり、それぞれ以下の効果が優れているという特徴があります。

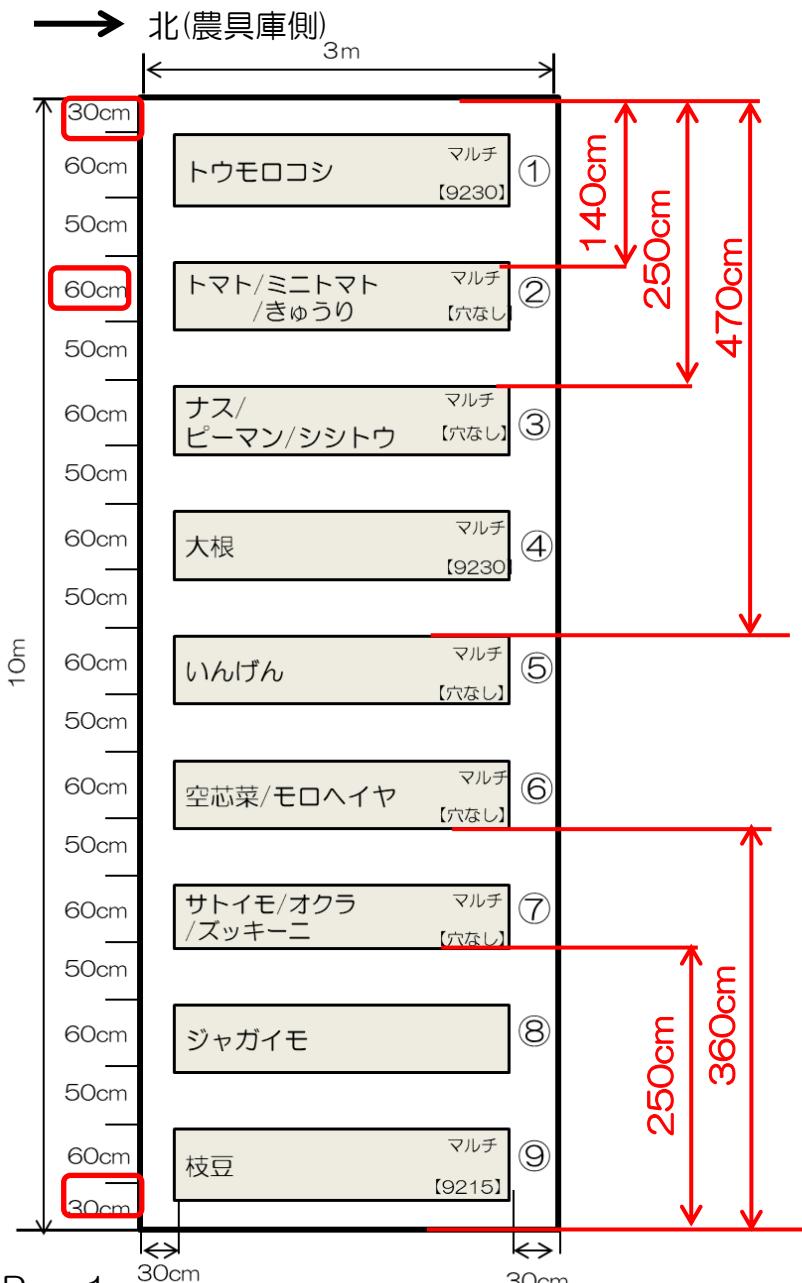
黒：雑草防除 / 透明：地温調整 / シルバー：アブラムシ防除

当農園では雑草防除の効果が高い、黒のポリフィルムを多く使用していますが、トマト/ナスを植えつけるところは、アブラムシ防除のため、銀(シルバー)マルチを使用する場合があります。

ちなみに、マルチ9230の「9230」とは、マルチの種類を示しており、9→95cm幅/2→2列/30→30cm間隔を意味しております。カブ等で使う9415は、95cm幅/4列/15cmとなります。

当講習では、マルチ→穴なしマルチ、マルチ9×××→穴ありマルチと呼びます。

2種類以上のマルチ引きがある場合、間違えないように注意してください。



第2回講習会以降のマルチひきです
肥料は全て同一です **マルチの種類に注意**
優先順位が高い順番に記載しています

口トウモロコシのマルチ引き(①列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - ・マルチ9230をひく

口枝豆のマルチ引き(⑨列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - ・マルチ9215をひく

□いんげんのマルチ引き(⑤列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - ・穴なしマルチをひく

トマト/きゅうり(②列目)

- ・施肥：野菜名人、アズミン、石灰 各1杯(約200g)
 - ・穴なしマルチをひく

※できるだけマルチ幅60cmを確保するように！
狭いと支柱立て/植付の際、苦労します

口ナス/しとう/ピーマンの準備(③列目)

- ・施肥：野菜名人、アズミン、石灰 各1杯(約200g)
 - ・穴なしマルチをひらく

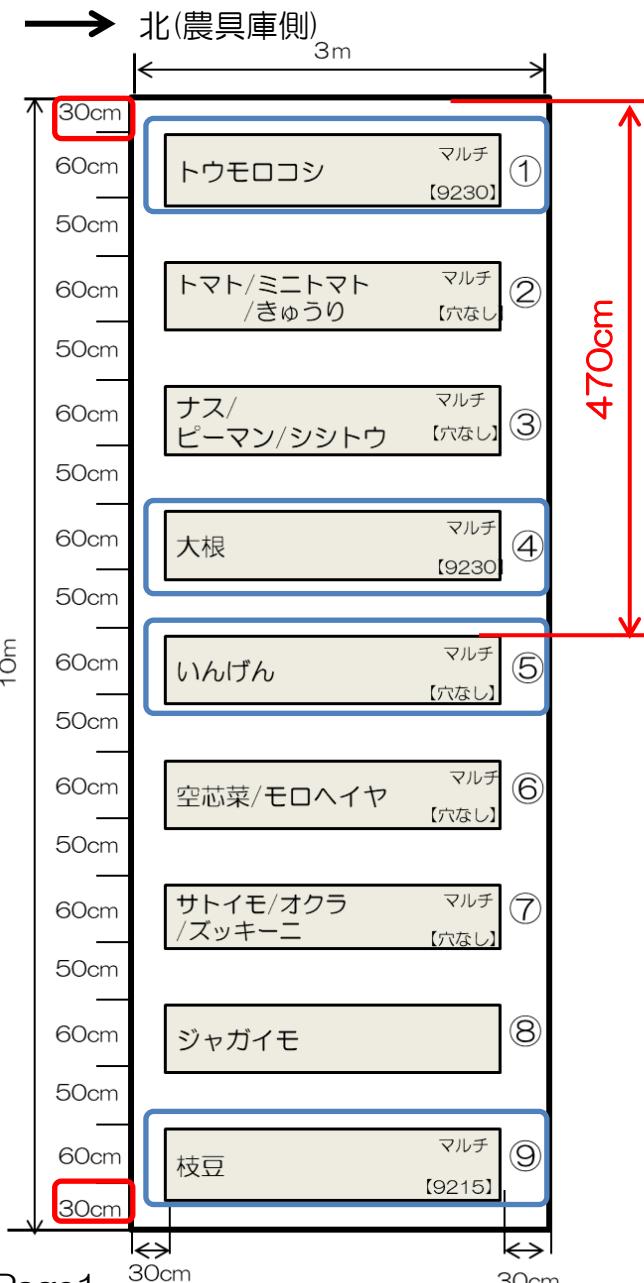
□空芯菜/モロヘイヤのマルチ引き(③列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン各1杯(約200g)
 - ・穴なしマルチを7トク

□サトイモのマルチ引き(7列目)

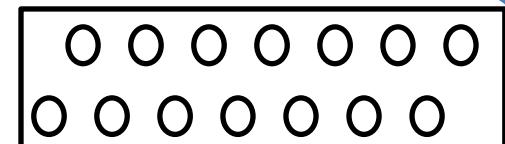
- 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - 穴なしマルチを7トク

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



トウモロコシのマルチ引き(①列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰
アツミン 各1杯(約200g)
 - ・マルチ9230をひく

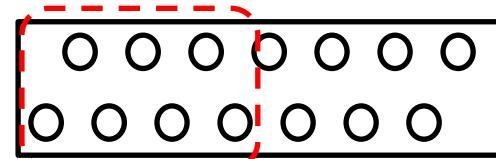
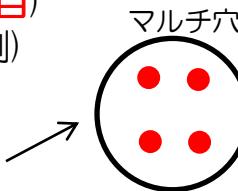


注：穴の数は参考です。→ 北

口大根の種まき(④列目)

- 種まき(半分/南側)
※1穴4粒

種を1か所に固まらない
よう、ばらして撒きます
指で4つ穴を空けると楽です



※先週種まきして発芽しないものは
まき直し手ください

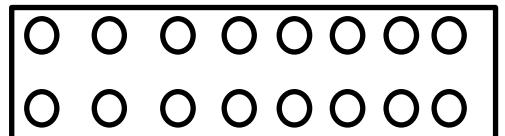
以下 ⑤、⑨列は、ゆっくり作業したい方、体力に自信がない方、
当日お時間がない方は講習時間外に進めていただいて構いません。
ハウス内に肥料/資材は常備しているので、事前連絡等は不要です。
第4回講習会(4/11,12)までに完了してください。

□いんげんのマルチ引き(⑤列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - ・穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

口枝豆のマルチ引き(⑨列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰
アツミン 各1杯(約200g)
 - ・マルチ9215をひく



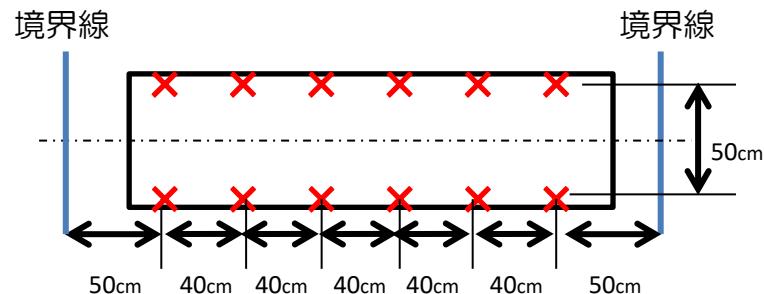
注：穴数は参考です。 → 北

【トマト/きゅうりの支柱立て作業】

当体験農園では、合掌(がっしょう)式支柱を採用しています。

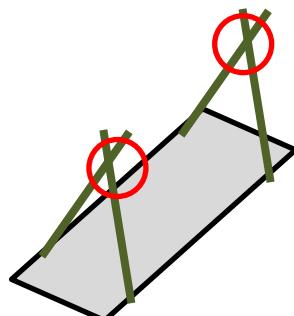
①支柱(13本)と紐(ビニール紐)を用意する。

②支柱を立てる箇所に印をつける
※マルチ引きに使用した間縄を使うと
きれいに立てられます。

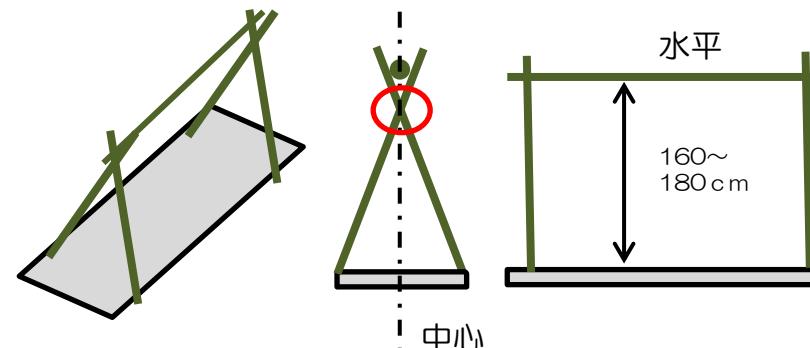


※本来の植付は50cm間隔ですが、トマト類の植付本数を増やすため、40cm間隔としています。

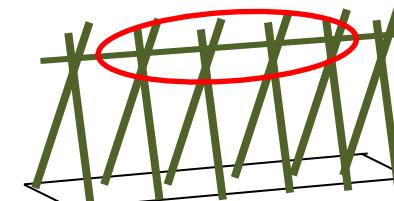
③両端の支柱を下図のように交差させて立て、紐で仮止めする。



④上方に支柱をのせ、マルチ中心位置、水平位置になるよう調整し、仮止めした紐を本締めする。
高さは各自結びやすい高さで結構です。



⑤残りの支柱を上方の支柱に合わせて、下図のように立てる。→支柱は絶対曲げないでください
立て終わったのち、3本の支柱をまとめて紐でしばる。



⑥手で支柱をゆらし、安定していることを確認する。

※写真は麻紐ですが、ビニール紐を使ってください。

注意：経験年数に関係なく、必ず本手順に従って作業をお願いします。

例年回っていると、誤った手順で作業をしています。特に以下注意ください。

- ・間縄を使わず採寸する → 支柱位置が大きくずれます
- ・縦棒を全て立ててから横棒を乗せる → 支柱が折れて使えなくなります
- ・縦棒を横棒の上側で交差させる → トマト等の重さに耐えられなくなります

当体験農園では、合掌(がっしょう)式支柱を採用しています。トマト/きゅうりの茎を支柱に麻紐で固定し、上方へ成育させます。



①道具の準備

支柱とビニール紐を準備する

- ・支柱(横棒1本、縦棒12本、計13本)
- ・ビニール紐80cm 14本(スズランテープ)
- ・メジャー、**間縄**

※支柱は2種類あります。最初の方に作業される方は
270cm12本、240cm1本をお持ちください。

270cmがなくなった時点で、縦棒も240cmを
使用ください

※ビニール紐は、スズランテープを60~80cm程度
各自切り出してください。

②マルチ引きで使用した間縄を2本張り、支柱を立てる幅位置を決めます。

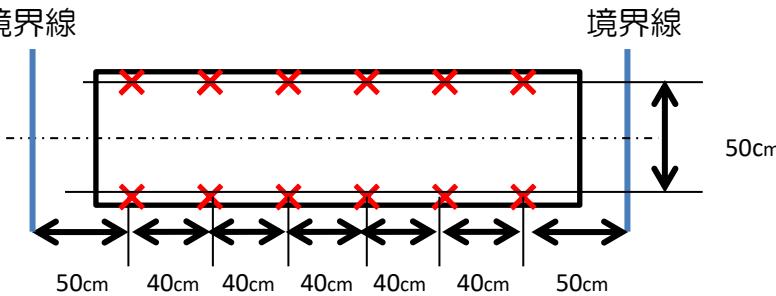
境界線



※幅の寸法はマルチの幅ぎりぎりか
少し内側になる位置にします

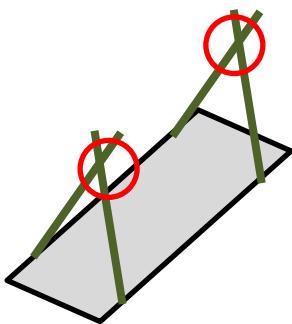
③支柱を立てる箇所(×位置)を採寸し、
縄上に指などでマルチに穴をあけます。

境界線



※本来の植付は50cm間隔ですが、トマト類
の植付本数を増やすため、本農園では
40cm間隔としています。

④両端の支柱(縦棒)を、下図のようにに交差させて穴にさし込み、ビニール紐で**仮止め**する。
※支柱を強引に曲げないように注意すること

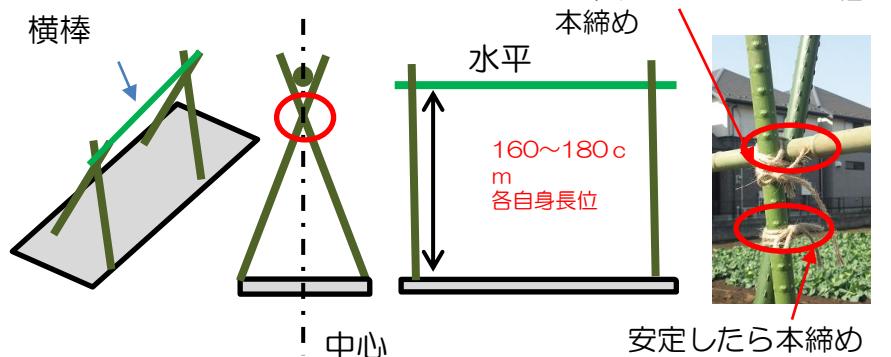


③あけた両端の穴に支柱をさします

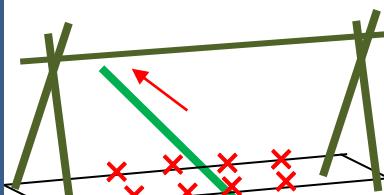


※写真は麻紐ですが、以下ビニール紐を使ってください

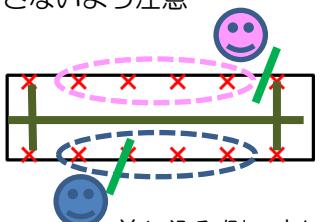
⑤上方に支柱(横棒: 240cm)をのせ、マルチ中心位置、水平位置を調整し、ビニール紐を本締めする。
高さは作業者の身長が目安です。
あまり高いと収穫時に手が届かなくなります。



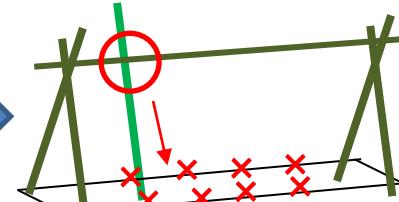
⑥残りの支柱を立て、ビニール紐で本締めする



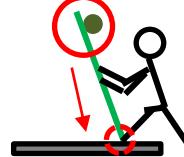
支柱を**横棒の下から通す**
※前後のマルチに棒を刺さないよう注意



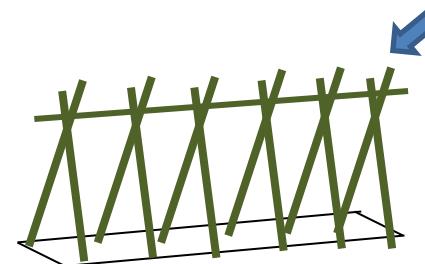
差し込み側の方に立つと
効率よく作業できます



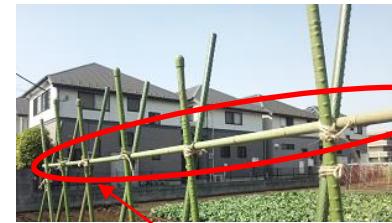
上の支柱に沿わせながら穴に
差し込む



足で支柱を支えながら差し込むと、支柱を曲げずに、効率よく立てられます



残りの支柱も同様の手順
で穴に差し込みます



全ての支柱を立てた後
3本まとめてビニール紐
で本締めします

⑥手で支柱をゆらし、安定していることを確認する。
スカスカ力の場合、ビニール紐を結びなおす。
問題なければ、使った道具を片付ける



注: 詳細は講習当日の指示に従ってください

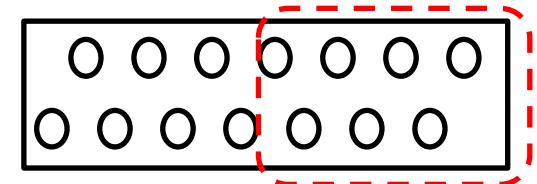
□全般

第4回講習会(4/11-12)は多くの種まき作業があります。
極力本講習会中に支柱立てまで終了させることをお勧めします。

□大根 発芽しない所はまき直してください

□トウモロコシの種まき(①列目)

・種まき 1穴2粒 (半分/北側)



注: 穴数は参考です。 → 北

□マルチ引き

寸法/肥料は「春のマルチひき」資料を参照ください。

列⑤、⑨

次週種まきを行います。必ず本講習会中に終了させてください。

列②、③

なるべく本講習会中に終わらせてください。

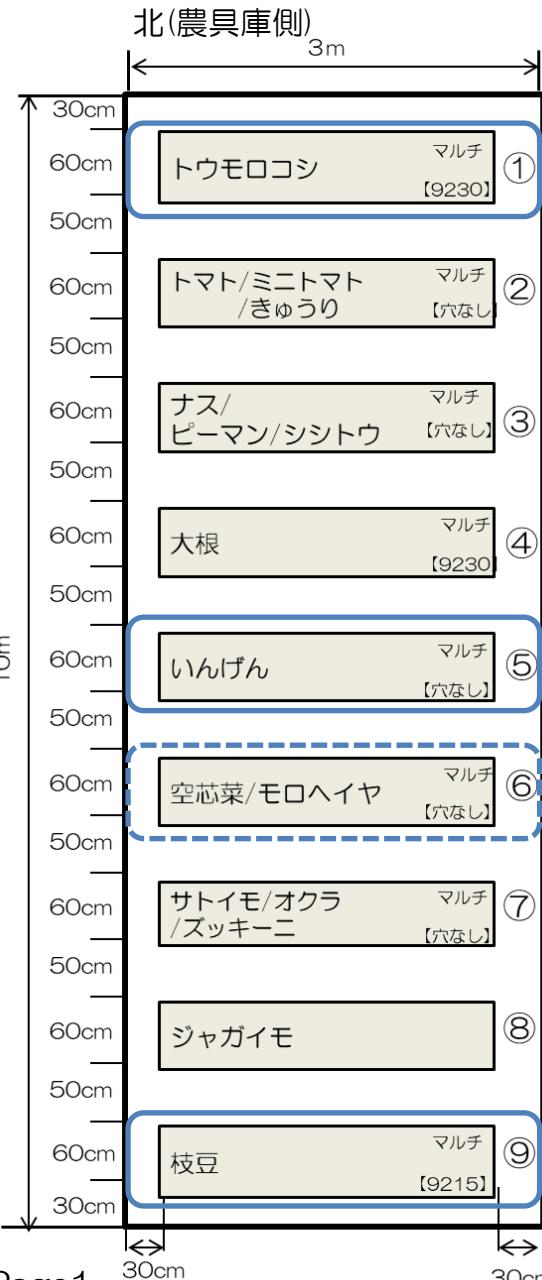
列②が終わった方から順次、支柱立てを指導します。

列⑥、⑦

列②の支柱立てを優先し、余裕がある方から作業ください。

□トマト/きゅうり支柱立て(列②)

別の配布資料をもとに行ってください。

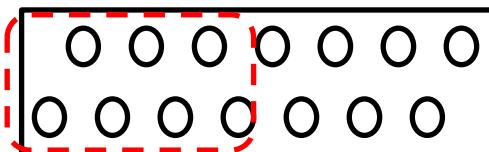


注: 詳細は講習当日の指示に従ってください

□トウモロコシの種まき

(①列目)

- ・種まき 1穴2粒



→
北

※発芽するまで10日程度かかります。まき直しは次回行ってください。

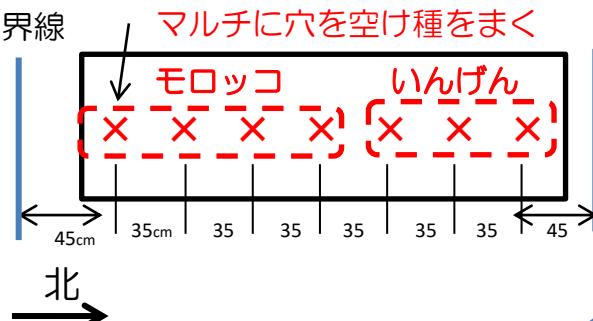
□いんげんの種まき(⑤列目)

- ・マルチに穴をあける
穴はトウモロコシ
マルチ穴くらい

※穴が小さすぎると、
熱で種が腐ります。

- ・種まき (7か所、1穴2粒)

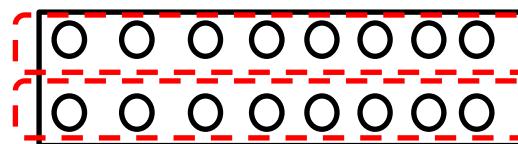
境界線



→
北

□枝豆の種まき(⑨列目)

- ・種まき 1穴2粒
(深さ1.5cm程度)



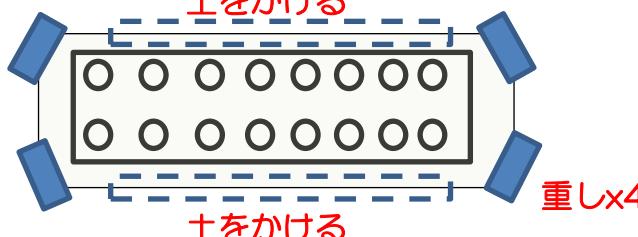
→
北

黒豆

茶豆

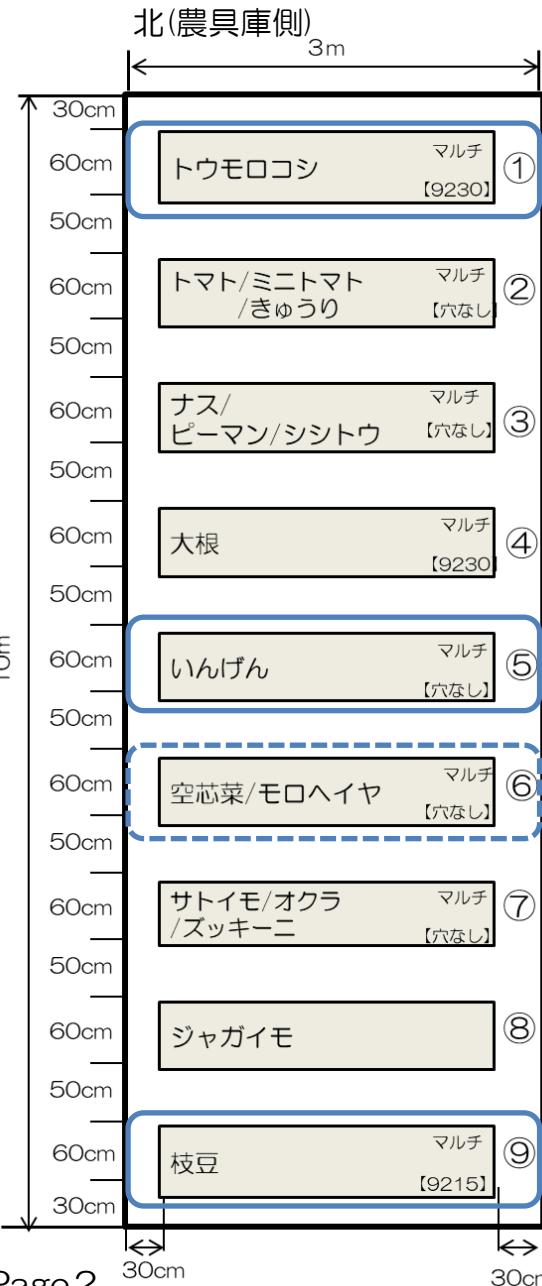
種まき後、鳥避けのためパオパオ(不織布)をかぶせます
その後、円筒の重しを2隅に置き、両端は土でかぶせます

土をかける



パオパオは各自のコンテナ
内にあります。

重しは各区画、4つまで
としてください



注: 詳細は講習当日の指示に従ってください

空芯菜の苗が1区画1~2個分用意できました。
マルチの準備ができた方から、各区画1株植え付けを行ってください。

□空芯菜の植え付け(⑥列目)

- ・マルチに穴を空ける
- ・空芯菜列の一番北側の穴に空芯菜の苗を植える。

※モロヘイヤを数を増やしたい方は、空芯菜の植付数を減らしてください
モロヘイヤ3つの場合、右から4つ目の穴となります。



↑ 農園入口側



注: 詳細は講習当日の指示に従ってください

苗を植えた後のポッドは、洗って土を落としてから返却をお願いします

□ 大根(④列目)

- まびき(大きいもののみ) 4本→2本

□ 空芯菜の植え付け(⑥列目)

- 各区画、指定数植え付け
(最大3個になるように)
モロヘイヤ/空心菜残りは後日植付

境界線



モロヘイヤ希望数により異なります

□ ズッキーニ(⑦列目)

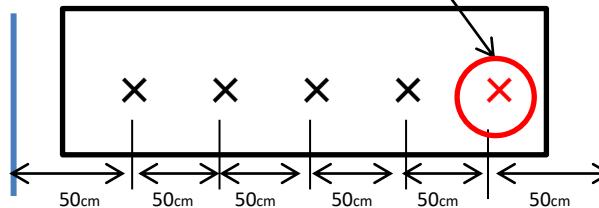
- 黒マルチに以下の寸法で穴を空ける
一番北側の穴に植え付ける

境界線

ズッキーニ

北

境界線



□ ジャガイモ(⑧列目)

- 追肥(化成8号1杯)および土寄せ
発芽した芽の周辺に肥料を撒き、土を寄せる

□ 枝豆(⑨列目)

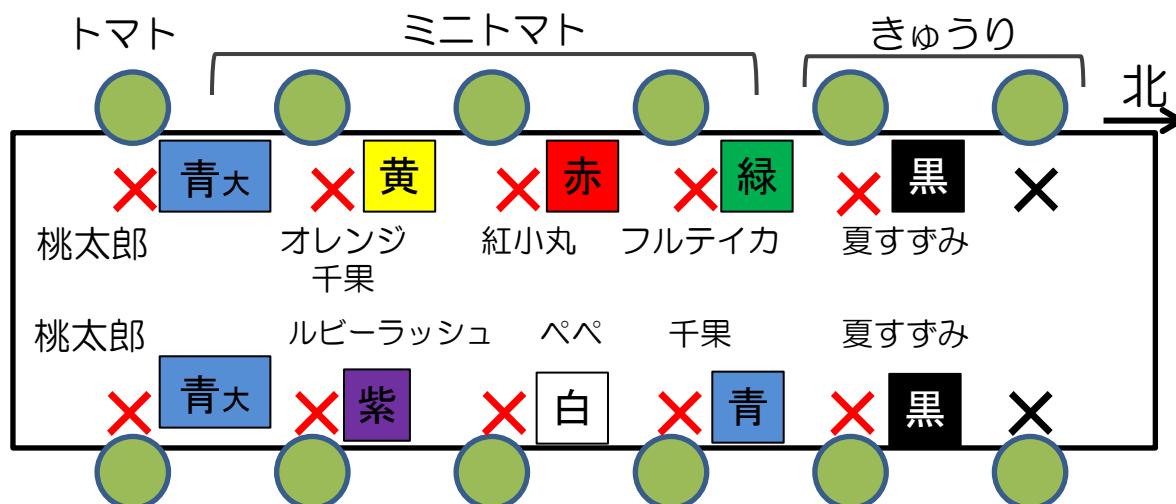
- パオパオをはがし(乾かしてから各自ボックスに保管)
発芽しない箇所は苗を植えてください

【トマト/きゅうりの植付場所(②列目)】

支柱から10cmほど離した場所に植えます。(赤「×」の箇所)

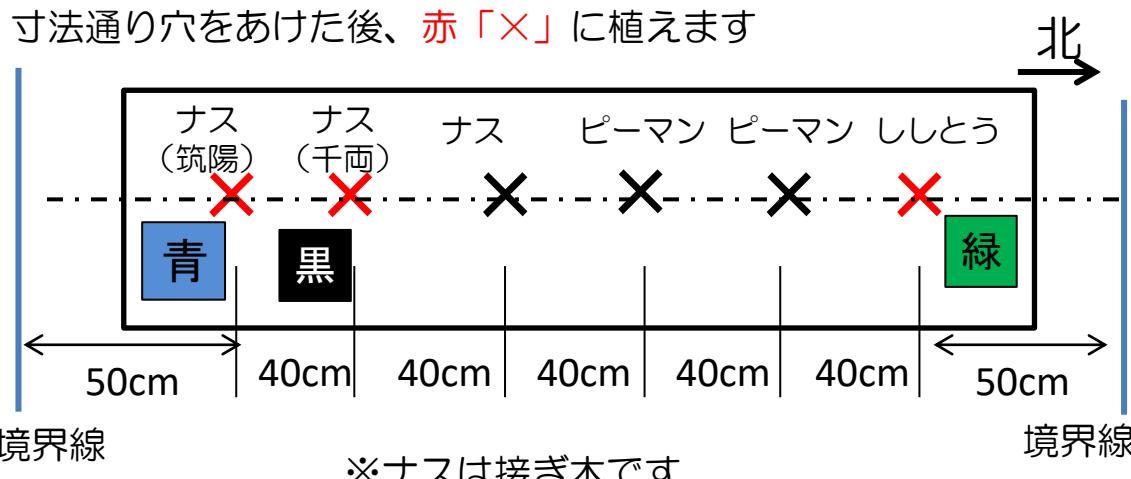
赤×：本日植え付け

黒×：後日植付



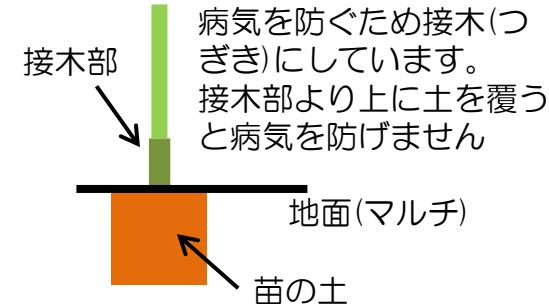
【ナスの植付場所(③列目)】

寸法通り穴をあけた後、赤「×」に植えます



トマト/キュウリ/ナス共通

接ぎ木の苗は深く植えすぎず、
苗の土の部分と地面(マルチ)が同じ
高さになるようにしてください





□全般

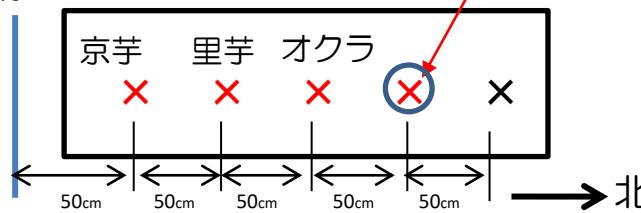
- ・来園時は水やりを行ってください(特にナス/きゅうり)
- ・除草、誘引、トマトのめかき
※トマトめかき→自信がない方は個別指導します
- ・大根間引き(大きいものは2本に)

□京芋/里芋/オクラ/ズッキーニ(7列目)

- ・黒マルチに以下の寸法で穴を空ける
 - ・京芋/里芋→種芋を右図のように植える
 - ・オクラ → 種まき(1穴3粒)

境界線

オクラ or ズッキーニ選択可(この穴のみ)



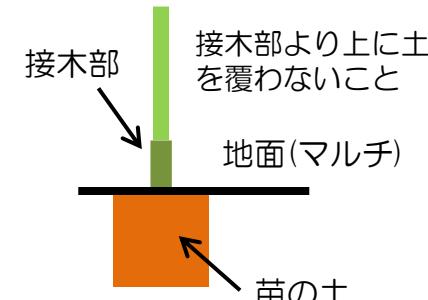
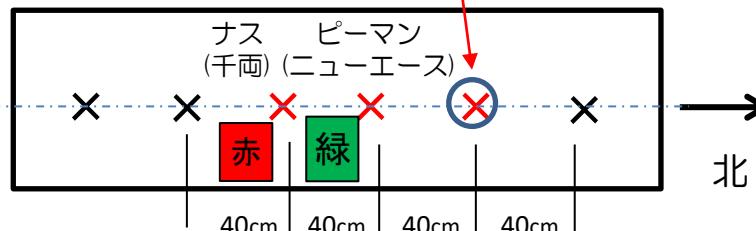
種芋を横向きにし、芽がマルチ穴の中心にくるように植える

□ナス/ピーマン植え付け(③列目)

- ・黒マルチに以下の寸法で穴を空ける
 - ・赤「×」に苗を植える

選択可：

ピーマン(京波) 黒 / ジャンボしおとう 桜



↑ 農園入口側



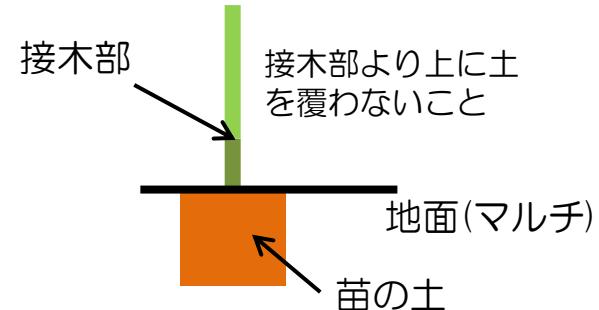
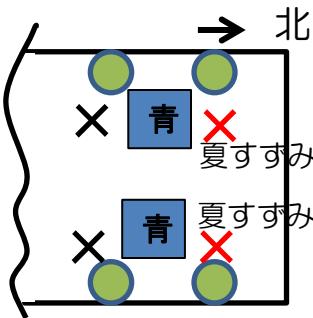
注: 詳細は講習当日の指示に従ってください

□全般

- 除草、誘引、トマトのめかき
※トマトめかき→わからない方は個別指導します

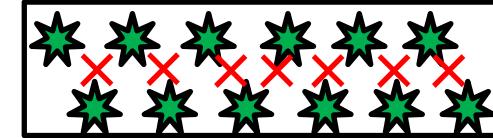
□きゅうりの植付け(②列目)

- 苗を植付け、麻紐で縛る(誘引)
→風で折れないよう、最初のうちは鉄棒に誘引してください



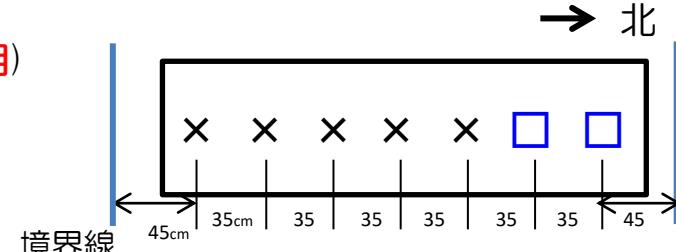
□大根

- まびき(大きいもの) 2本→1本
 - 追肥(追肥の達人)
→マルチ上X部に一つまみづつ
- 注: 多く施肥すると肥料焼けします



□モロヘイヤの植え付け(⑥列目)

- 残りを植付け



モロヘイヤ希望数により異なります



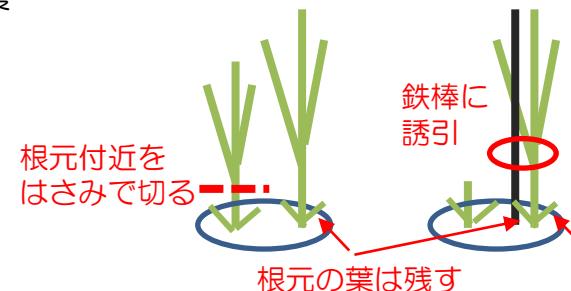
□全般

- 除草、誘引(トマト/きゅうり)、トマトのめかき
※トマトめかき→自信がない方はお声掛けください

□大根、ズッキーニ収穫

□トウモロコシ

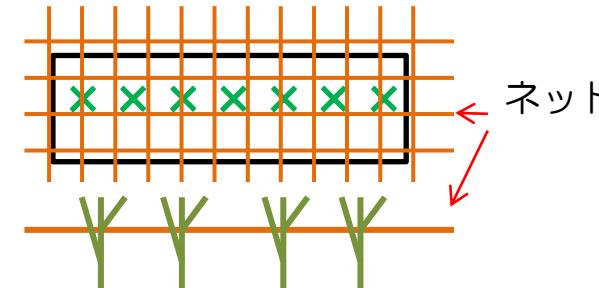
- まびき(任意です)
- 鉄棒に誘引



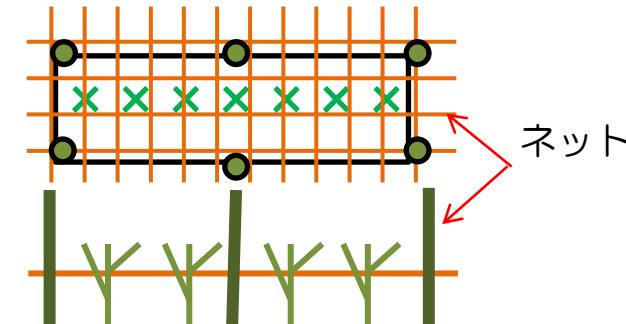
□ナス列ネットはり

- ①支柱(74cm/6本)とネットを用意する。

- ②ネットをナス/ししとう/ピーマンの上に軽く掛ける



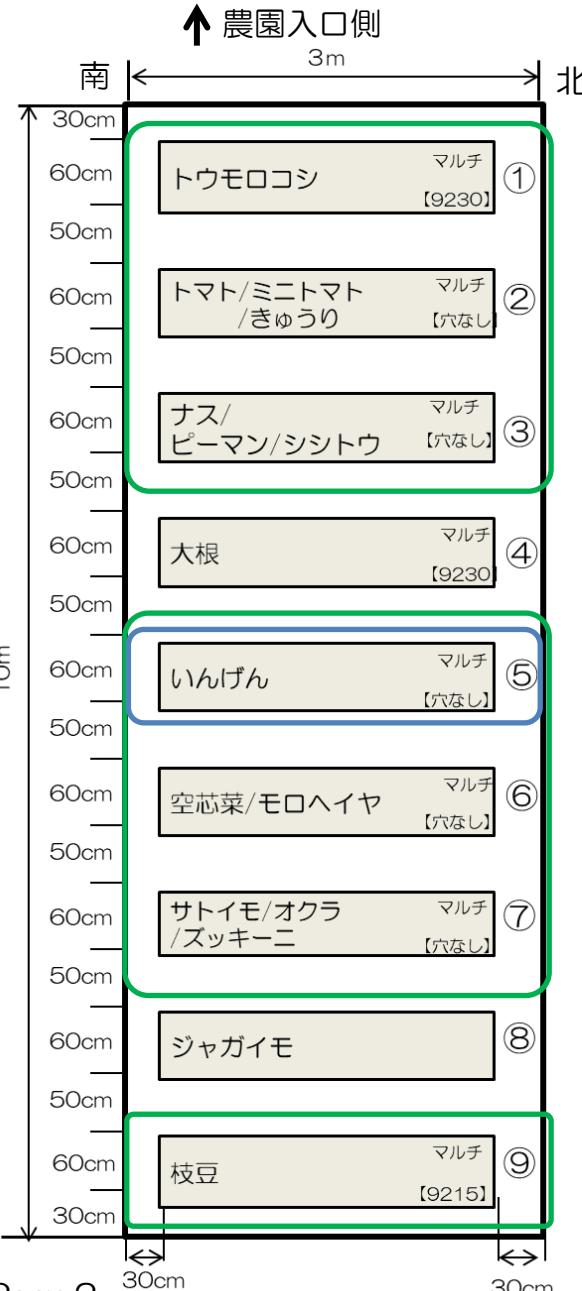
- ③支柱を6本立て、ネットを張り、麻紐で縛り固定する



※保持していた鉄棒は外す
(小さい苗は除く)

- ④成長に合わせてネット高さを調整する





注：講習当日の指示に従って作業ください

□追肥 追肥用肥料 緑四角部（大根/じゃがいも以外）

追肥用肥料を1株1つまみ撒きます

ボールに入れ、余った肥料は元に戻してください

多すぎないよう注意してください(肥料焼けします)。



「1つまみ」はこれくらいです



根元に1つまみ
ずつ追肥します

追肥肥料は常設します。月1ペースで各自施肥ください

□いんげん支柱立て】

①支柱(74cm/2本)と
黒ビニール紐を用意する
(各自BOX内にあります)

③一番小さい苗の高さに合わせ、
2本のビニール紐を両側から
挟むようにして支柱に縛る

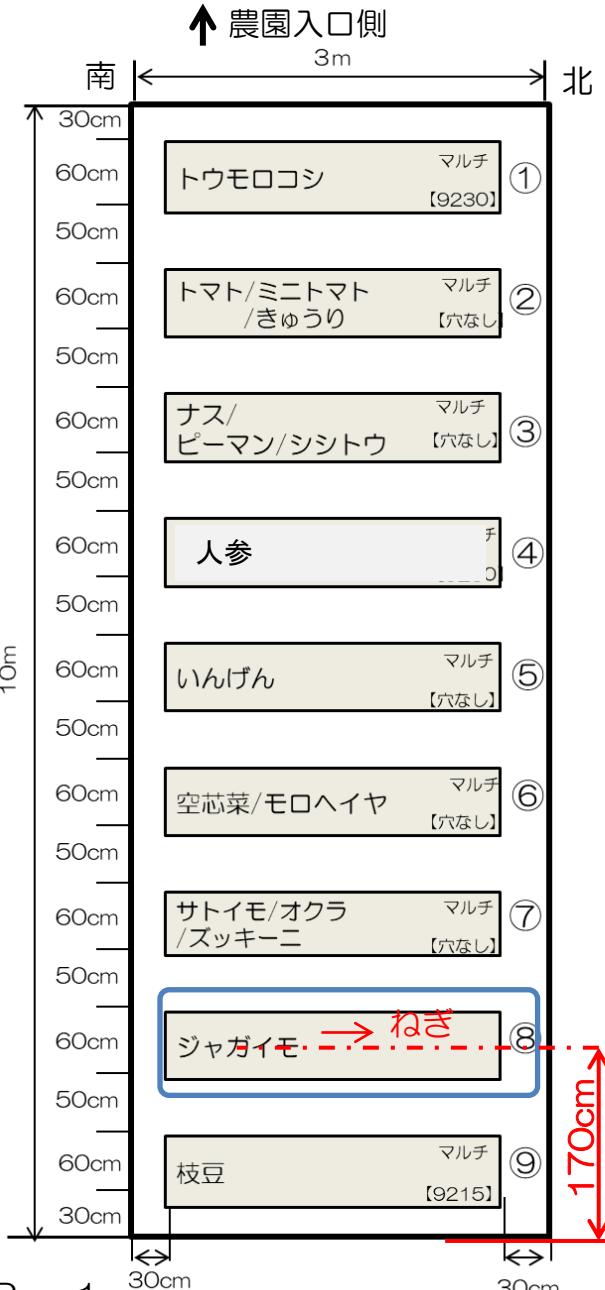


②マルチの両端に支柱を立てる



④苗と苗の間を麻紐で縛る





注：講習当日の指示に従って作業ください

今回が春の最後の講習会です。以後管理・収穫期に入りますが、週に一度は来園くださるようお願いします。

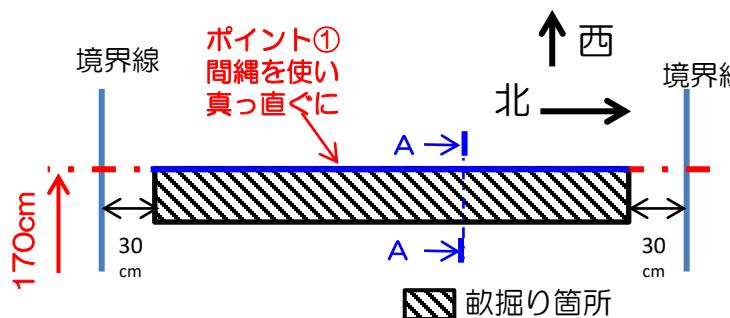
全般

- ### • 収穫、管理作業

ロジヤガイモ収穫 → ねぎ植付

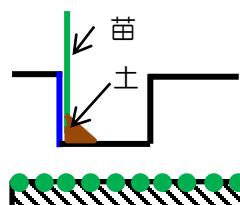
- ・ジャガイモ収穫
 - ・石灰(カルメイト) → 2杯
 - ・化成肥料(化成8号) → 1杯
 - ・畝掘り → 基準面(青線部)が曲がらないようにしてください

施肥後よく耕したのち
平坦にしてください

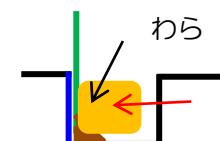


・苗植え

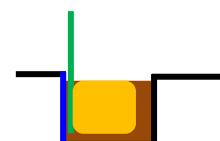
- ①ねぎの苗を基準面につけ
根元に土をかけて固定する



5cm間隔、畠全体に

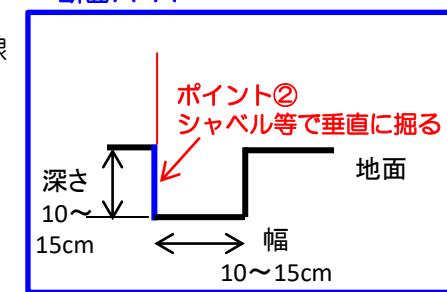


注意① 間隔狭いと細くなります！



注意② 土をかけすぎると腐ります

断面A-A



「7月～8月の作業予定」



列番	6月下旬の状態	7月～8月の作業	8月末時点の状態
①	植付済	収穫可能時期はホームページ上でお知らせします。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月～8月上旬)
②	収穫可	適宜収穫して下さい	そのまま (9月上旬撤去)
③	収穫可	適宜収穫して下さい。	そのまま (9月下旬撤去)
④	収穫完了	状況に応じ、種まきを行って下さい。	そのまま (人参生育中)
⑤	植付済	適宜収穫してください。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中旬)
⑥	収穫可	適宜収穫ください。大きくなりすぎたら一旦バッサリ切り、きれいにしてください。	そのまま (10月まで可)
⑦	植付済	サトイモ類は成長に合わせ、畝上げを行ってください。ズッキーニは隨時収穫ください。	そのまま (生育中)
⑧	植付済	特にありません	そのまま (生育中)
⑨	植付済	収穫可能時期はホームページ上でお知らせします。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中旬)

注1. 収穫時期、消毒情報は、HPを確認ください

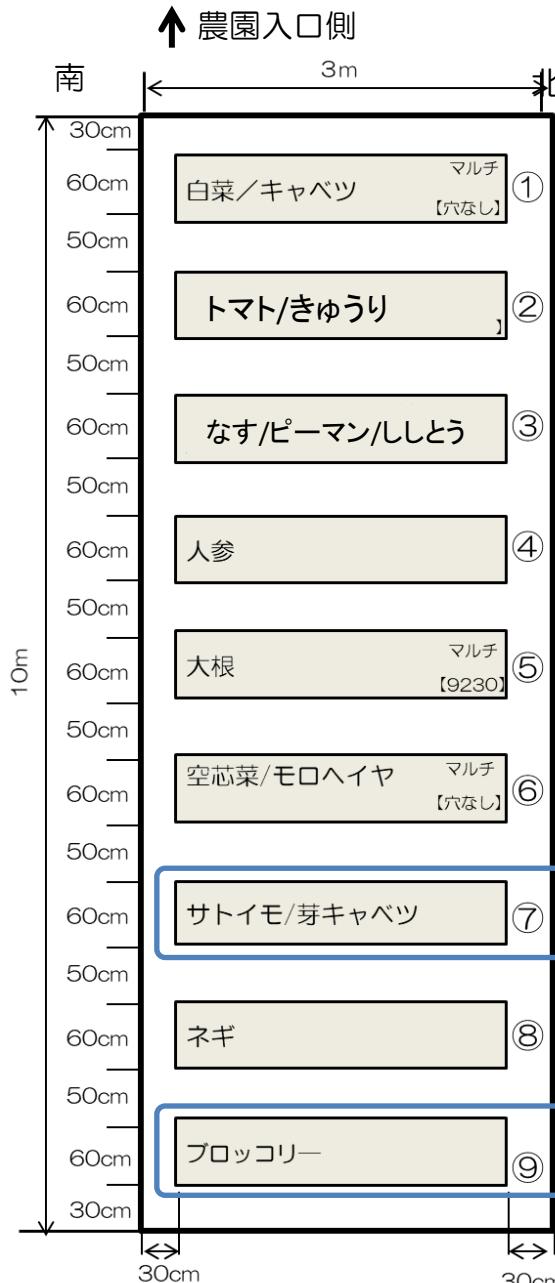
注2. 除草などの管理は適宜行ってください

【お知らせ】

●管理・収穫期(7月～8月)の作業の注意事項

基本的には、皆さんのご都合の良い日時に来て作業を行っていただいて構いません。
ただし、以下の点に注意ください。

- ①講習会中断期間の連絡は「ホームページ」および「希望者へのメール連絡」にて行います。収穫情報、後述の消毒情報等は、こちらを確認してください。遠方の方で、ホームページを見れない方は、事前にお電話していただくことをお勧めします。
 - ②なるべく週一度は除草/収穫に来るようにしてください。特にトマト/きゅうり/ナスについては、**間をあけすぎると収穫タイミング(食べ頃)を逃してしまうことがあります。** なお、枝豆、トウモロコシ等は収穫情報については、こちらからは「**ホームページ**」と「**希望者へのメール**」以外では発信しませんので、ご注意願います。
 - ③夏場は午前中の早い時間、もしくは夕方に来られることを強くお勧めします。
水分補給を忘れず、**健康に留意して**作業を行ってください。
 - ④大体の日は畑に出ておりますので、作業等についてご不明点等がありましたら、
その都度声をかけてください。ただし、**夏場の日中(11:00～15:00)は、**
昼休憩等のためほとんど対応できませんので、ご注意ください。
 - ⑤自転車は**必ず指定場所に駐輪**するようにしてください。
 - ⑥除草した草、トウモロコシの茎、外したマルチ等は、それぞれ指定した場所に
捨ててください。また、**支柱に使用した鉄棒等は必ず元の場所に戻してください。**
- ### ●秋の講習会日程について
- 秋の講習会日程については、決定次第ホームページ上に掲載します
8月下旬～9月上旬の予定です



お願い

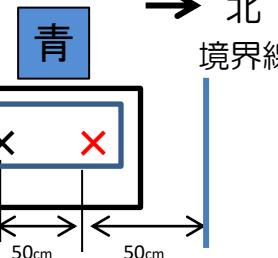
ブロッコリー、芽キャベツの苗のポットはよく洗い
泥を洗って落としたのち、回収場所へ戻してください

□芽キャベツ(⑦列目)

- 肥料(野菜名人/石灰/アズミン)を通常の半分の量を撒き、苗を植える

オクラの成育が悪い方は芽キャベツに植え替えていただいて構いません

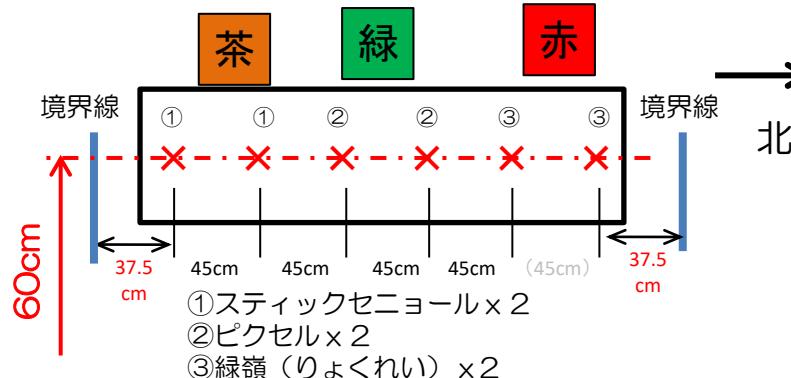
境界線



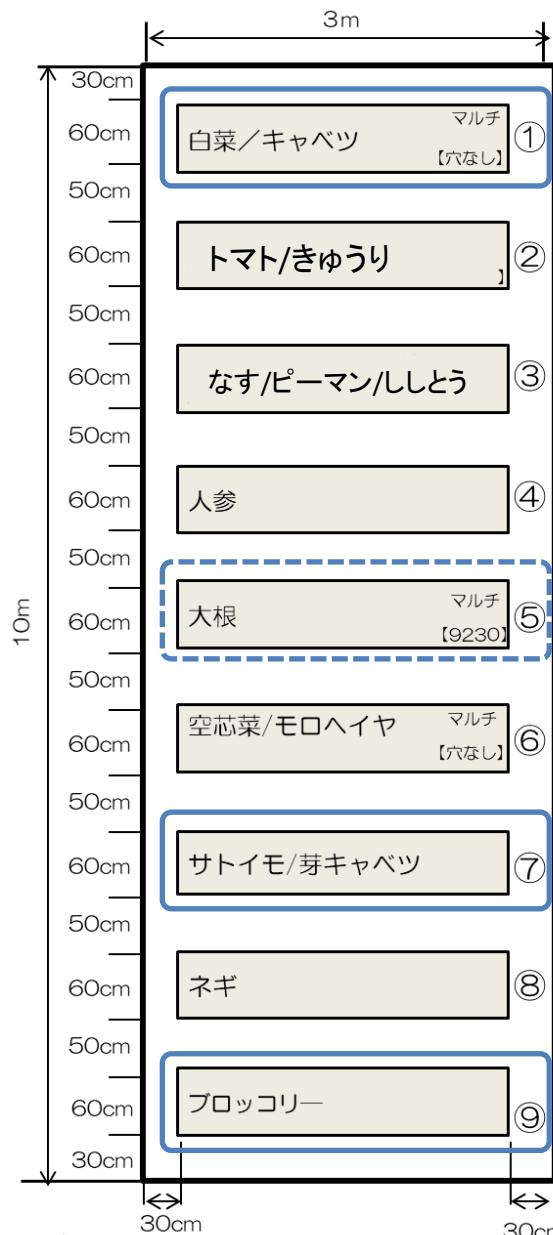
□ブロッコリーの植付(⑨列目)

- ブロッコリーの苗(3種類)を植える。植え付け後、鉄棒に誘引する。

苗は深植えしてください



→ 北(農具庫側)



□白菜/キャベツの準備(①列目)

- ・野菜名人1杯、石灰、アズミン1杯
 - ・施肥後よく耕す
 - ・穴無しマルチをひく(幅は60cm確保してください)
- ※苗は準備できたらお知らせします

□サトイモの土寄せ(⑦列目)

- ・マルチをはがし、サトイモ/京芋に土寄せをする
- ※苗は準備できたら都度お知らせします

□ブロッコリーの準備(⑨列目)

- ・野菜名人1杯、石灰1杯、アズミン1杯(うねの中心に)
 - ・施肥後よく耕す マルチはひきません
- ※苗は準備できたらお知らせします

※種まきは9月に入ってからなので、以下8月中旬以降に作業ください

□大根の準備(⑤列目)

- ・野菜名人1杯、石灰1杯、アズミン1杯
 - ・施肥後よく耕す
- ※マルチ9230をひく(8月下旬に用意します)

□その他

列②トマト類は9月頭、列③ナス類は9月下旬を目安に撤収ください。9月中旬以降、カブ、葉物の種まきを行います。
トマト支柱を縛ったビニール紐はマルチ捨て場へお願いします

→ 北(農具庫側)



□白菜/キャベツの準備(①列目)

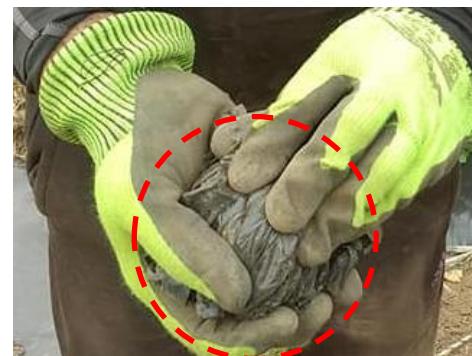
- ・野菜名人1杯、石灰、アズミン1杯
- ・施肥後よく耕す
- ・穴無しマルチをひく(幅は60cm確保してください)

□大根の準備(⑤列目)

- ・化成8号1杯、石灰1杯、アズミン1杯
※野菜名人を施肥した方はそのままOKです
- ・施肥後よく耕す
マルチ9230をひく

□その他

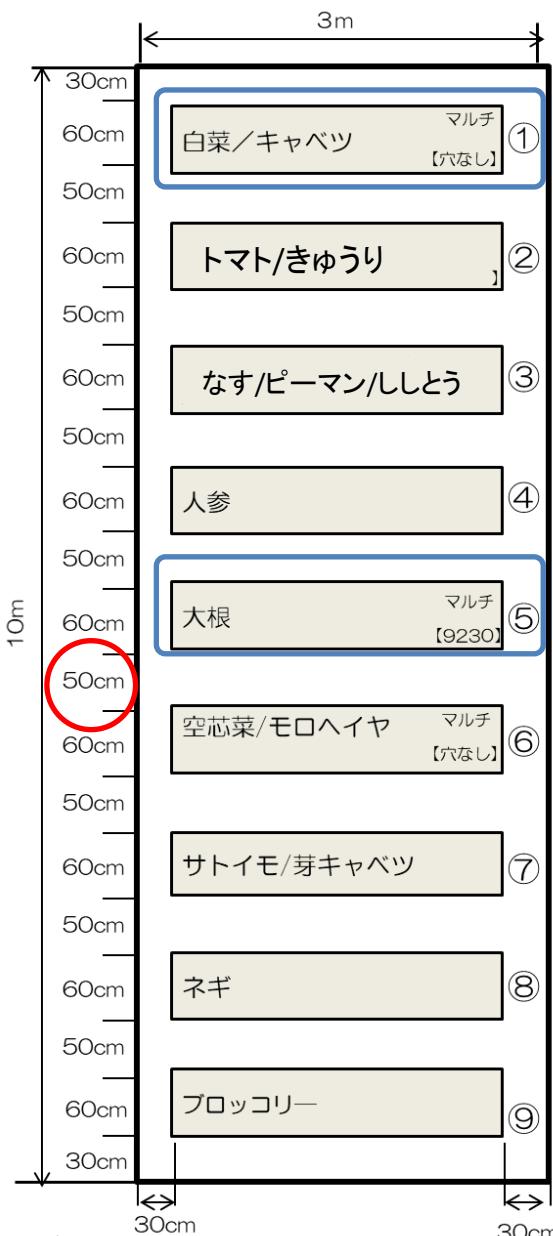
列②トマト類は9/6、列③ナス類は9月下旬を目安に
撤収ください。9月中旬以降、カブ、葉物の種まきを行います。
トマト支柱を縛ったビニール紐はマルチ捨て場へお願いします



マルチはよく乾かしてからしっかり
泥を落とし

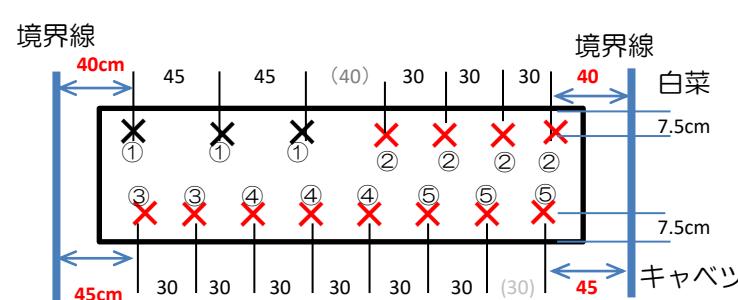
写真のように小さく丸くまとめてから捨ててください
(トマト支柱で使ったビニール紐など
で結ぶときれいにまとまります)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります



□白菜/キャベツの植付(①列目)赤×部

- ・黒マルチに穴をあけ、白菜(1種類)、キャベツ(3種類)を植える
- ※①は次週以降に植付けますので、穴だけ開けておいてください



北

- ・白菜
 - ①オレンジクイーン×3
 - ②ミニ白菜(黒) × 4
- ・キャベツ
 - ③金系201(緑) × 2
 - ④金春(赤) × 3
 - ⑤彩ひかり(青) × 3

□大根の準備(⑤列目)

- ・化成8号1杯、石灰1杯、アズミン1杯
- ・施肥後よく耕す
- ・マルチ9230をひく

□その他

ブロッコリー/里芋の土寄せ
(ブロッコリー、芽キャベツの植え替え 一部の方)

列②トマト類は9月頭、列③ナス類は9月下旬を目安に
撤収ください。9月中旬以降、カブ、葉物の種まきを行います。
トマト支柱を縛ったビニール紐はマルチ捨て場へお願いします

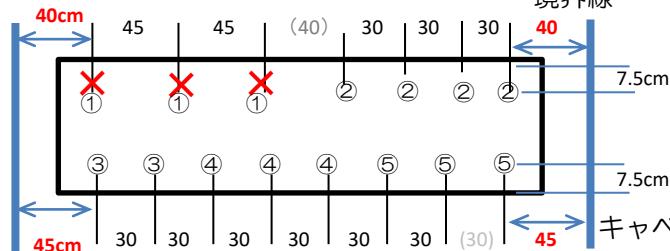


注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

□白菜の植付(①列目)赤×部

- マルチに穴をあけ、オレンジクイーンを植える

境界線 → 北

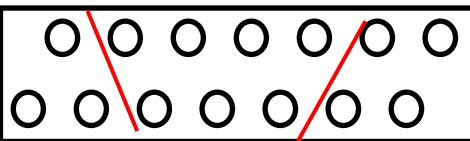


- 白菜
 - ①オレンジクイーン(黒) × 3
 - ②ミニ白菜(黒) × 4
- ・キャベツ
 - ③金系201(緑) × 2
 - ④金春(赤) × 3
 - ⑤彩ひかり(青) × 3

□大根の種まき(⑤列目)

- 種まき(1穴4粒)

※目安：聖護院3～4、青首6～8、三浦3～4



※本図は配分の目安です。
穴の数はマルチの引き方
で異なります

→ 北

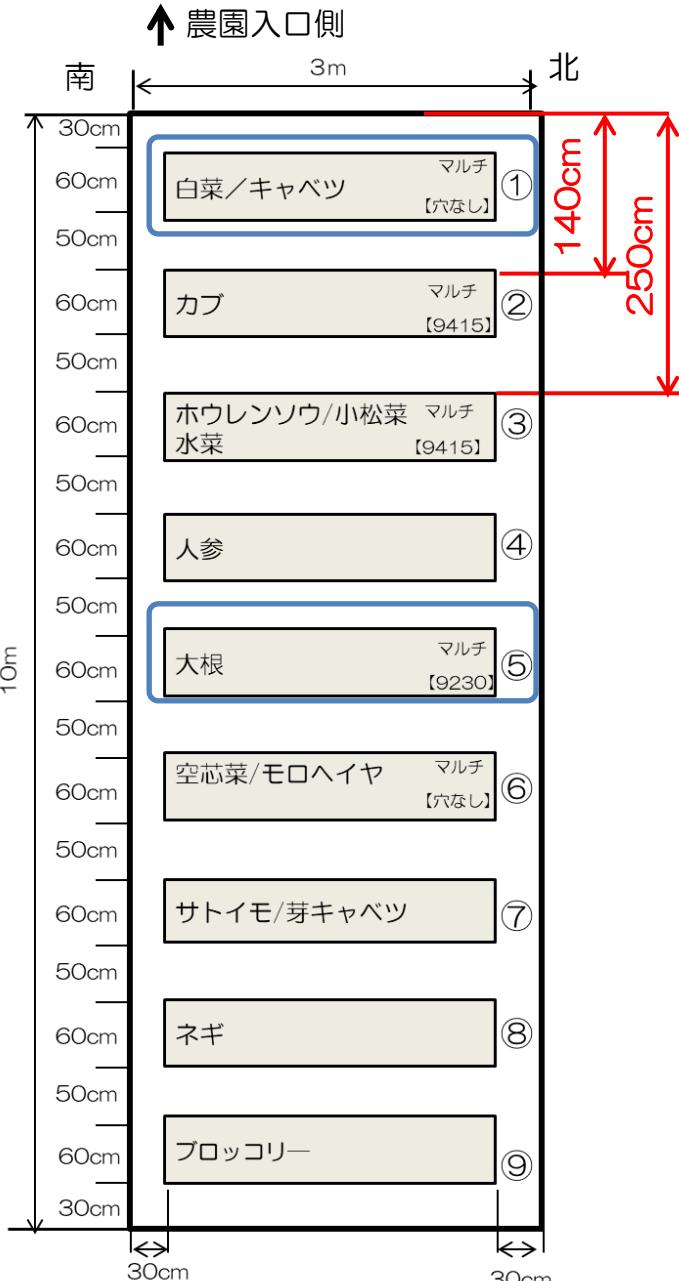
大根の配分(数の変更、種類の変更)は、各区画の好みで
変えていただいて構いません。

列②トマト類は本講習会、列③ナス類は9月下旬を目安に
撤収作業を進めてください。

※1週間程度元の場所で乾かしたのち破棄します

9月中旬以降、カブ、葉物の種まきを行います。

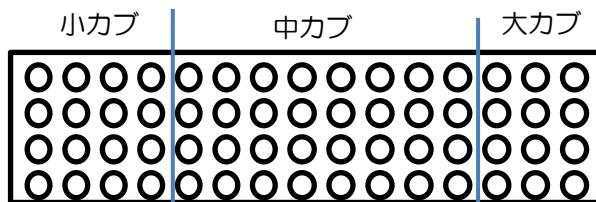
トマト支柱を縛ったビニール紐はマルチ捨て場へお願いします



以下の作業資料は準備でき次第ハウス内に準備します
準備ができましたら、HP、一斉メールにて連絡しますので、
ご都合のよい日程で作業を行ってください

□カブの種まき(②列目) 9月末までに行ってください

- ・施肥(野菜名人/石灰 各1杯)後、各自でうね全体を耕す
 - ・種まき、各穴4粒程度 大カブ3列、小カブ3列、残り中カブ



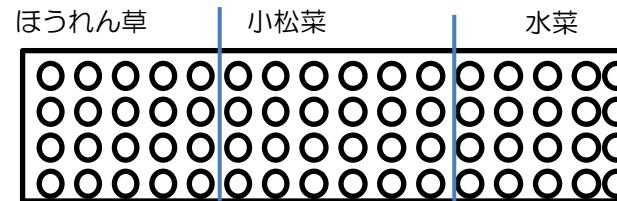
成育高さが違うため、順番を間違えないよう注意してください。

北

※穴数はマルチの引き方で異なります

□葉物の種まき(③列目) 10月上旬までに行ってください

- ・ナス類の撤収＆片づけ→ネットは各自BOXへ戻してください
 - ・施肥(野菜名人/石灰 各1杯)後、各自でうね全体を耕す
 - ・マルチ9415をひく
 - ・たねまき、各穴4粒程度
ホウレンソウ/小松菜/水菜 各5列程度



割合は各区画で任意に決めてください

8

※穴数はマルチの引き方で異なります

【諸連絡】

●収穫期(9月～1月)の作業の注意事項

ご都合の良い日時に来て作業を行っていただいて構いませんが、作業が落ち着く10月末位までは、2週間に一度程度指導時間内に来園することをお勧めします。

①収穫期の諸連絡は「**ホームページ**」および「**希望者へのメール連絡**」にて行います。

収穫情報、後述の消毒情報等は、こちらを確認してください。

②原則、週末の午前中が指導時間となります。対応時間等は逐次HPに掲載します。

ただし、10月中は稻刈り等で不在になる場合もあります。

③自転車は**短時間であっても、必ず指定場所に駐輪**するようにしてください。

④除草した草、枯葉、外したマルチ等は、それぞれ指定した場所・方法で捨ててください。

⑤白菜、キャベツ等は、害虫の発生具合をみて、消毒を行う場合があります。

消毒後一定期間は収穫ができません。また、消毒情報は「**ホームページ**」、「**メール連絡**」でのみ行っています。

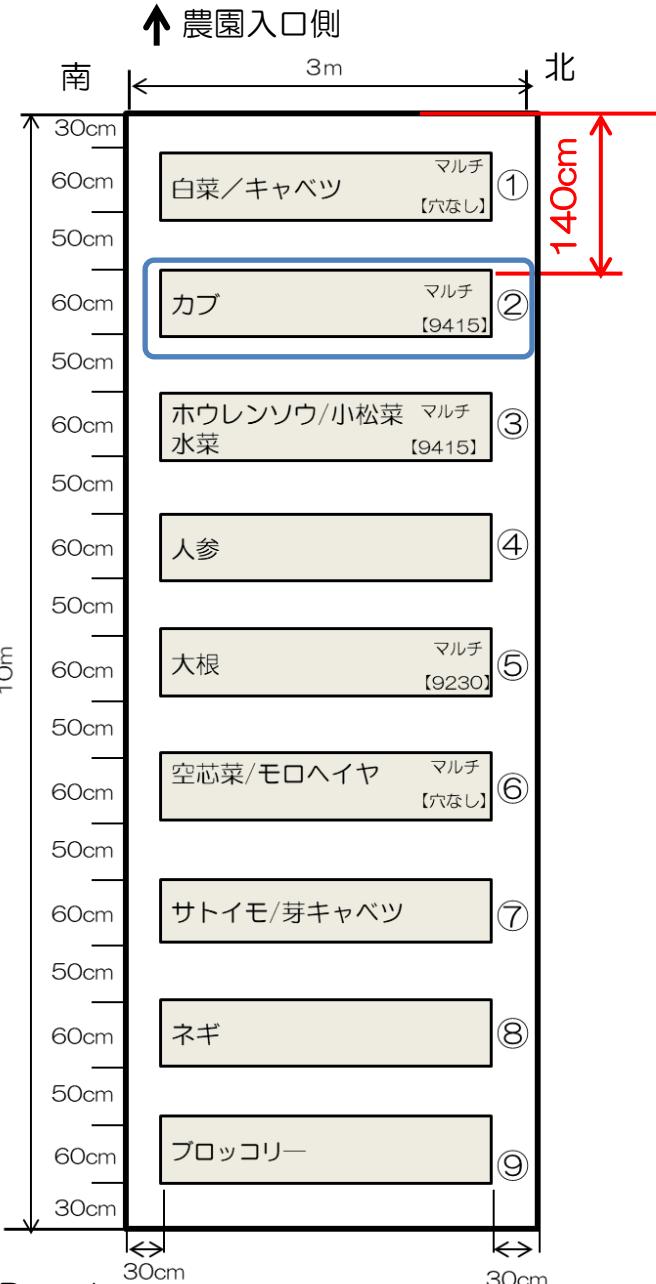
●次年度継続希望調査について

- ・講習会場(ビニールハウス内)で11/3～配布/回収します。**12/1まで**に提出ください。
- ・**書面のみの受付です** (メール/口頭不可) **提出がない場合は辞退者**とみなします

●収穫完了時期について

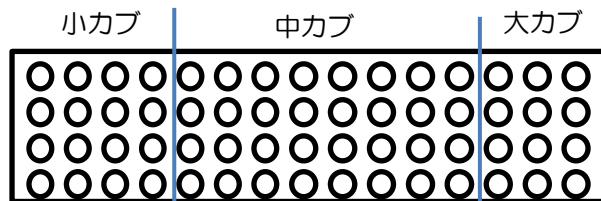
- ・農園の契約満了日は**2021年1月31日**となっております。継続/非継続に限らず**2021年1月中旬を目標に、収穫完了**するようにしてください。

- ・収穫完了後は、マルチを全てはがし、茎などのごみを撤去し、**何もない状態に戻していただけます**ようお願いします。



□カブの種まき(②列目) 9月末までに行ってください

- ・施肥(野菜名人/石灰 各1杯)後、各自でうね全体を耕す
- ・種まき、各穴4粒程度 目安: 大カブ3列、小カブ3列、残り中カブ
カブの割合は自由です



成育高さが違うため、順番を間違えないよう注意してください。

→ 北

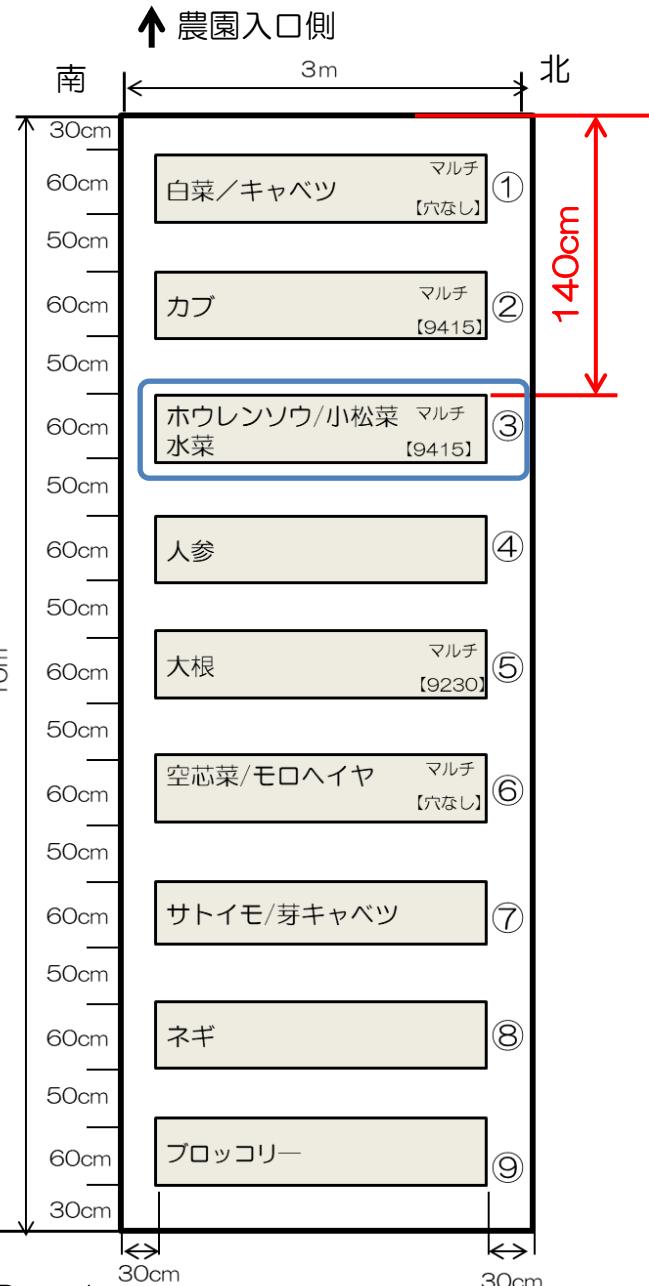
※穴数はマルチの引き方で異なります

参考: 9月末までの作業

- ・芽キャベツ側面の葉を落とす

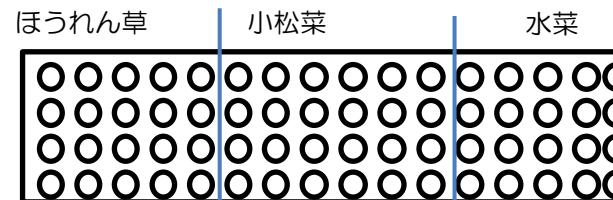


- ・人参: 間引き 10~15cm間隔 適宜
- ・大根: 間引き 9月末に4→2本
- ・ブロッコリー/里芋/ネギ 土寄せ 隨時
- ・追肥: 9月末
- ・ナス列は9月末~10月頭を目標に撤収開始ください



□葉物の種まき(③列目) 10月中旬までに行ってください

- ・ナス類の撤収&片づけ→ネットは各自BOXへ戻してください
- ・施肥(野菜名人/石灰 各1杯)後、各自でうね全体を耕す
- ・マルチ9415をひく
- ・たねまき、各穴4粒程度
ホウレンソウ/小松菜/水菜 各5列程度



割合は各区画で任意に決めてください

※穴数はマルチの引き方で異なります

参考：10月中の作業

- ・空心菜/モロヘイヤは、霜が降りるまで収穫可能です。
10月末にターサイの植付を予定していますので、
植付できるタイミングで撤去ください。
- ・ブロッコリー/里芋/ネギ 土寄せ 隨時
- ・追肥：10月中旬～末

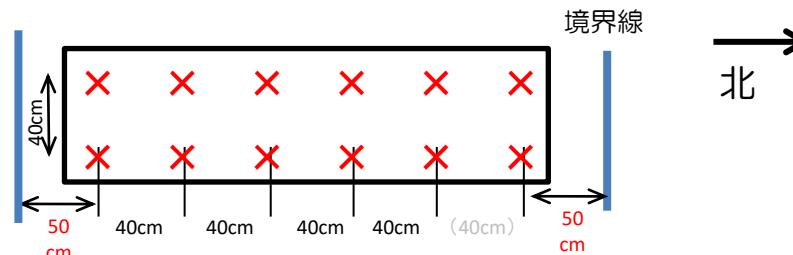
その他については、HomePage等で連絡します

→ 北(農具庫側)



□ターサイ植付(⑥列目)

- 空芯菜/モロヘイヤを片付ける
 - 施肥 (野菜名人1杯、石灰1杯)、しっかりと耕す
新しいマルチはひきません
- 12か所植え付けます



よくお読みください：植え方の注意



1つのポットに2～3本生えていますので
「1本づつ」ばらして植えてください
12か所植えるので、ポットは4～6個
持ちだすことになります。

面倒ですが苗を持ち出す際、数が12本
になることを確認してお持ちください。

3本生えています